



絶滅危惧のフクロウたち

～レッドリスト全国版と地方版～



特定非営利活動法人 EnVision 環境保全事務所 工藤 知美・長谷川 理

絶滅危惧種に指定されているフクロウは
全国版と地方版でどのように異なるのか..?!
最新レッドリストを地図化した。

- ・ **レッドリスト**とは？
- ・ 絶滅のおそれのある野生生物のリスト。
- ・ 生物種ごとに、絶滅の危険度に応じて**カテゴリー**分けされる。
- ・ 危険度は、個体数や生息面積、減少率などによって評価されるため、対象地域によって異なる。

全国版レッドリスト（環境省指定）

日本で絶滅危険性が高いことを示す。

日本に生息するフクロウ全12種のうち絶滅が危惧されているのは5種。

いずれもの種も沖縄や北海道など、一部の地域に生息しているのみである。

個体数や生息地を維持するため、国レベルでの**保護政策**を要する。



リュウキュウオオコノハズク
生息地：沖縄県
カテゴリー：準絶滅危惧



ダイトウコノハズク
生息地：沖縄県
カテゴリー：準絶滅危惧



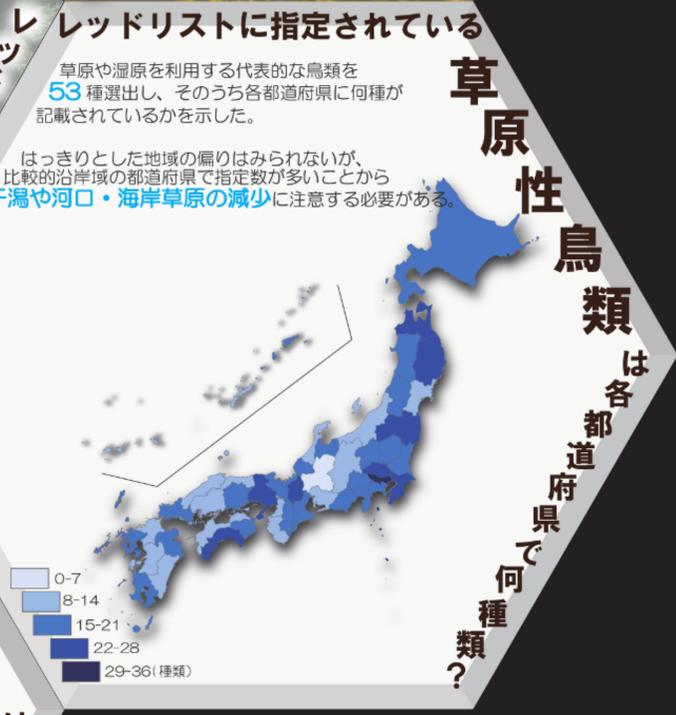
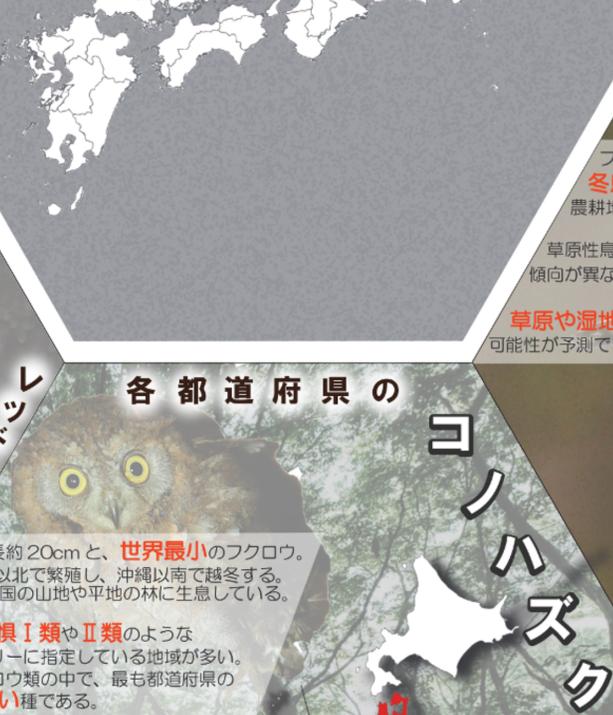
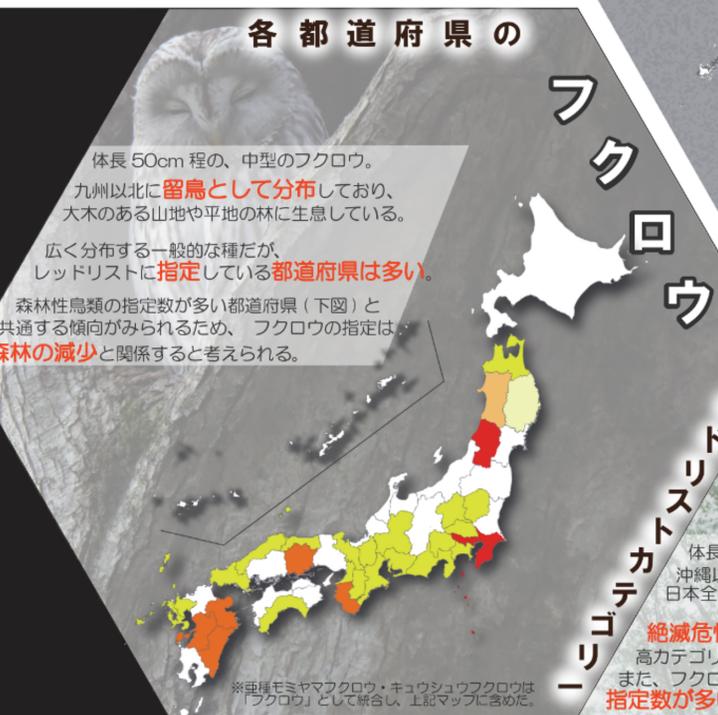
キンメフクロウ
生息地：北海道
カテゴリー：絶滅危惧Ⅰ類



ワシミミズク
生息地：北海道
カテゴリー：絶滅危惧Ⅰ類



シマフクロウ
生息地：北海道
カテゴリー：絶滅危惧Ⅰ類

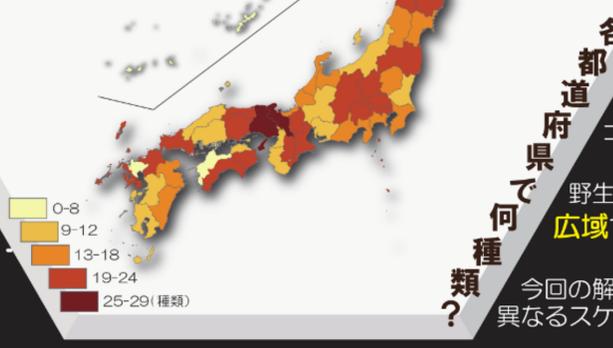


地方版レッドリスト（都道府県指定）

各都道府県で絶滅危険性が高いことを示す。
日本に生息するフクロウ全12種が指定されている。

現在、都道府県別レッドリストに掲載されている鳥類は全446種。環境省指定と同じく絶滅危険度に伴いカテゴリー分けされている。ただし、そのカテゴリー数や名称は都道府県ごとに異なるため、環境省指定と同じ「総合カテゴリー」に対応させる作業を行ってから集計した。

使用したデータ：(特非)野生生物調査協会・(特非)EnVision 環境保全事務所が作成している「日本レッドデータ検索システム」のレッドデータリスト
フクロウ写真提供：北海道大学理学部 生物科学科 高木昌典 教授
岩手大学農学部 共同獣医学科 福井大祐 准教授
根室市歴史と自然の資料館 学芸員 外山雅大 博士



地方版レッドリスト（都道府県）を地図で示すことで、日本全体を俯瞰することができた。それにより、全国版レッドリスト（環境省）には記載されていないが、全国的に広く絶滅が危惧されるコノハズクのような種があることが分かった。

野生生物を守るためには、広域での取り組みと各地域の取り組みを連動させる必要がある。

今回の解析で、個別の情報を統合的に地図化し、異なるスケールの情報と比較する有効性が示された。